



全日本実業団対抗陸上競技選手権大会がたけびしスタジアム京都で開催され、3名の選手が出場しました。
 中川選手は序盤、良い位置で余裕を持ってレースを進めていましたが、中盤の苦しい場面でうまくリズムをつくることができず、集団から遅れてしまいました。夏場の強化期間には着実に練習を積み重ねることができているため、今後さらに状態を上げてまいります。
 5月の故障に苦しんだ光恒選手は、ようやく走れる状態まで回復し、駅伝に向けて急ピッチでコンディションを整えている中で
 のレースとなりました。そのため今大会に照準を合わせることは難しい状況でしたが、今回のレースを通じて課題
 や取り組むべきことが明確になりました。駅伝に向けてしっかりと準備を進めてまいります。
 同じく5月のレース中に骨折した新人の渡辺選手も、長い故障期間を乗り越えて復帰
 し、今回のレース出場によって大きな一歩を踏み出しました。
 今後の予定として、9月26日（土）の日本体育大学長距離競
 技会に出場し、10月18日（日）のプリンセス
 駅伝に向けてチーム一丸となっ
 て取り組んでまい
 ります。

9/11(金)▶13(日) 第74回 全日本実業団対抗 陸上競技選手権大会

京都府 たけびしスタジアム京都



中川 China
 Naka gawa 千愛

女子5000m1組

16分57秒08

22着/総合47位

後半シーズン最初のレースでした。8月の強化合宿ではプラン通りの練習ができていたのですが、直前で調子が上がらず、結果につなげることができませんでした。
 レース中盤までは余裕があってリズムを作っていましたが、急に脚が動かなくなり、失速してしまいました。
 原因は走りにもありますが、貧血の状態であったこともうまく走れなかった要因だと思いますので、まずは日頃の生活や食事から意識をして改善していきます。
 2週間後の日体大競技会にも出場しますので、コンディションを含め、切り替えて合わせていきます。
 応援ありがとうございました。



光恒 Mitsune Yuri 悠里

女子5000m1組

17分32秒75

27着 / 総合53位

今大会は実業団に入ってから目標にしていた大会のひとつでした。

5月の故障により長期間思うように走れない日々が続きましたが、走れるようになってからは急ピッチで調整を進めてきました。今大会に出場したいという強い思いと、駅伝につながる一戦にしたいという思いを胸に、練習に励んできました。

結果はとても厳しいものになってしまい、チームにも不安を持たせてしまったと思います。私自身も練習で積み上げてきたことをなかなかレースの結果につなげられず、もどかしいです。

しかし、現状が分かったことによって、今後のトレーニング内容を考える良い機会にもなったと思いますので、まずはプリンセス駅伝までにできることを積んでいき、最大限の準備をしていきます。温かいご声援をありがとうございました。



渡辺 Meru Watanabe 愛来

女子ジュニア3000m1組 (OP競技)

10分30秒15

15着 / 総合28位

日頃より温かいご声援をいただき、ありがとうございます！今回は全日本実業団選手権という大きな大会ではありましたが、復帰戦として出場しました。現地で応援してくださった皆さま、そして配信を通して応援してくださった皆さま、本当にありがとうございました。

結果、そしてレース内容ともに決して満足のいくものではありませんでしたが、改めて自分の弱さやこれから向き合っていかなければならない課題を実感するレースとなりました。

今回の結果をしっかり受け止め、次につなげるために、一つひとつの練習を大切にしながら継続して積み重ねていきたいと思っています。

そして、約1ヵ月後にはプリンセス駅伝があります。チームの一員として、いつも応援してくださる皆さまに少しでも恩返しができるよう、ここからさらに練習に励んでいきます。

「このチームを応援して良かった」と思っていただけのような走りをお届けできるよう、日々努力していきます。これからも温かいご声援をよろしく願いいたします。改めて、全日本実業団選手権でのたくさんの応援、本当にありがとうございました！



応援ありがとうございました！



日立女子陸上競技部事務局

